

2019 JUA/AUA Resident Program 参加報告

光井 洋介 (岡山大)

この度、2019年5月3日から5月6日に米国 Chicago で開催された米国泌尿器科学会 (AUA) annual meeting 2019 に JUA/AUA resident program からの派遣として参加させていただきました。

本プログラムは、JUA と海外学会との国際交流事業の一環として 2009 年度より開始され、今年で 11 年目になります。本プログラムの特徴は、学会参加費と宿泊費のサポートのもと、単に学会に出席するのみならず、レセプションやその他学会期間中に開催されるイベント等に参加できるというものです。

私自身は、AUA annual meeting への参加は今回で 3 回目になります。以前 AUA に参加した際には自分の発表の緊張でいっぱいであったため、学会自体を思ったより楽しむことができなかつたのを覚えています。今回は、発表がなく参加だけでしたので朝早くからのプレナリーセッションやベストポスターの閲覧、機械展示などを楽しむことができました。機械展示で一番印象に残ったのがウォータージェット前立腺肥大症蒸散手術 (Aquablation) です。機械をセッティングし、スタートボタンを押すと自動で前立腺を蒸散させます。所要時間は 5 分程度であり驚きました。2019 年現在米国 FDA で認可されており今後日本への導入が期待できます。参加するたびに学会の規模の大きさに圧倒され、レベルの高い発表・質疑応答に自分ももっと頑張ろうという気持ちになります。会場にはアメリカだけでなく、世界中から泌尿器科医が集まり、様々な医師が真剣に議論する様子は非常に刺激的であり、この討論に入っていくには今の自分の英語力では難しく、帰国後に英語の勉強もしなくてはと思いました。

AUA president reception では世界各国の泌尿器科学



写真1 AUA President Reception の様子

会の大御所の先生や、日本を代表する先生方の集まる会で、各国からの exchange program 参加者と交流する機会をいただきました。私も少しですが他国の先生と手術などについてお話することが出来とても楽しかったです。またもちろん、空き時間を利用してシカゴ・カブスの本拠地であるリグレーフィールドにてダルヴィッシュ有の力投を見たり (残念ながら負けてしまいました)、シカゴ美術館にてアートを楽しんだりシカゴ観光も堪能することも出来ました。

最後になりますが、本交換プログラムにご推薦いただきました当教室の那須保友教授をはじめ、このような機会を与えてくださった国際委員会 委員長 富田善彦先生、泌尿器科学会事務局様にこの場をお借りして深謝申し上げます。